

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科 国語科 科目 国語表現 年間授業計画

教科：国語科 目：国語総合 単位数：2単位

対象学年組：第4学年N組

教科担当者：(N組：清水)

使用教科書：(50大修館 国表307 国語表現 改訂版(大修館書店))

使用教材：(新訂国語図説五訂版(京都書房)、教員自作プリント)

	指導内容	科目 国語表現 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	自己PRと面接	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える</li> <li>他者との交流の中で自分の長所や得意なを見つける</li> <li>適切な言葉遣いで意見交換や発表を行う</li> <li>文中で常用漢字や語句を正しく使用する</li> </ul>	<b>【観点】</b> 関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 知識・理解  <b>【方法】</b> ワークシート 小テスト 授業内観察 授業内発表	5
5月	自己PRと面接	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える</li> <li>他者との交流の中で自分の長所や得意なを見つける</li> <li>適切な言葉遣いで意見交換や発表を行う</li> <li>文中で常用漢字や語句を正しく使用する</li> </ul>	<b>【観点】</b> 関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 知識・理解  <b>【方法】</b> ワークシート 小テスト 授業内観察 授業内発表 定期考査	8
6月	自己PRと面接	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える</li> <li>他者との交流の中で自分の長所や得意なを見つける</li> <li>適切な言葉遣いで意見交換や発表を行う</li> <li>文中で常用漢字や語句を正しく使用する</li> </ul>	<b>【観点】</b> 関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 知識・理解  <b>【方法】</b> ワークシート 小テスト 授業内観察 授業内発表	9
7月	ことわざ 格言 慣用句	<ul style="list-style-type: none"> <li>語句について、的確に理解する</li> </ul>	<b>【観点】</b> 関心・意欲・態度 知識・理解  <b>【方法】</b> ワークシート 小テスト 授業内観察	6
8月				0
9月	自己PRと面接	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える</li> <li>他者との交流の中で自分の長所や得意なを見つける</li> <li>適切な言葉遣いで意見交換や発表を行う</li> <li>文中で常用漢字や語句を正しく使用する</li> </ul>	<b>【観点】</b> 関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 知識・理解  <b>【方法】</b> ワークシート	8

指導内容	科目 国語表現 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
		小テスト 授業内観察 授業内発表	

	指導内容	科目 国語表現 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	メディアと情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアの比較を行い、その適性や特徴を理解する</li> <li>・メディアとの付き合い方について、他者との意見交換の中で自分の考えを深める</li> <li>・適切な言葉遣いで意見交換や発表を行う</li> </ul>	<p>【観点】 関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 知識・理解</p> <p>【方法】 ワークシート 小テスト 授業内観察 プレゼンテーション 定期考査</p>	10
11月	メディアを駆使する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアの比較を行い、その適性や特徴を理解する</li> <li>・メディアとの付き合い方について、他者との意見交換の中で自分の考えを深める</li> <li>・適切な言葉遣いで意見交換や発表を行う</li> </ul>	<p>【観点】 関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 知識・理解</p> <p>【方法】 ワークシート 小テスト 授業内観察 プレゼンテーション 定期考査</p>	9
12月	対義語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句について、的確に理解する</li> </ul>	<p>【観点】 関心・意欲・態度 知識・理解</p> <p>【方法】 ワークシート 小テスト 授業内観察 定期考査</p>	8
1月	相手や場面に応じた会話  敬語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や場面に応じた適切な言葉遣いを考え、ロールプレイする</li> <li>・他者の発表を踏まえ、自身の会話における課題を見つける</li> <li>・適切な言葉遣いを身につけ、適切な敬語を用いる</li> </ul>	<p>【観点】 関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 知識・理解</p> <p>【方法】 ワークシート 小テスト 授業内観察 プレゼンテーション</p>	8
2月	相手や場面に応じた会話  敬語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や場面に応じた適切な言葉遣いを考え、ロールプレイする</li> <li>・他者の発表を踏まえ、自身の会話における課題を見つける</li> <li>・適切な言葉遣いを身につけ、適切な敬語を用いる</li> </ul>	<p>【観点】 関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 知識・理解</p> <p>【方法】 ワークシート 小テスト 授業内観察 プレゼンテーション 定期考査</p>	7
3月				

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科：数学 科目：数学Ⅱ 年間授業計画

教科：数学 科目：数学Ⅱ 単位数：2単位

対象学年組：第4学年N組

教科担当者：(N組：山本宗一)

使用教科書：(7実教数Ⅱ323 実教出版 新訂版 高校数学Ⅱ)

使用教材：(教科書, 教員自作プリント)

	指導内容	科目数学Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1章 複素数と方程式 1節 式の計算 1. 整式の乗法 2. 因数分解	<ul style="list-style-type: none"> <li>式の見方を豊かにするとともに、3次の乗法公式および因数分解の公式について理解を深める。また、分数式の四則演算ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗法公式や因数分解の公式について関心をもち、調べようとする。</li> <li>分数式について関心をもち、調べようとする。(授業態度)</li> <li>分数式の四則計算と分数の四則計算とを比較しながらとらえることができる。(発問評価)</li> <li>乗法公式を用いた<math>(a+b)^3</math>の展開や、<math>a^3\pm b^3</math>の因数分解ができる。</li> <li>分数式の四則計算ができる。(課題提出・定期考査)</li> <li>分数式の四則計算について理解し、基礎的な知識を身に付けている。(定期考査)</li> </ul>	5
5月	4. 分数式			7
6月	2節 複素数と2次方程式 1. 複素数 2. 2次方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>数を複素数まで拡張することの意義を理解し、複素数の四則演算ができるようにする。また、2次方程式の解について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数の体系を複素数まで拡張する意義に気づくとともに、数を拡張していく過程に関心をもち、調べようとする。</li> <li>複素数の範囲で2次方程式の解に関心をもち、判別式を活用して2次方程式の解について調べようとする。(授業態度)</li> <li>数を複素数まで拡張する過程を考察することができる。</li> <li>2次方程式の解について判別式を用いて考察することができる。(発問評価)</li> <li>複素数の四則計算ができる。</li> <li>複素数の範囲で2次方程式の解を求めたり、判別式を利用して2次方程式の解の判別ができる。</li> <li>解と係数の関係を利用して、式の値を求めることができる。(課題提出・定期考査)</li> <li>数を複素数まで拡張することの意義を理解し、基礎的な知識を身に付けている。</li> <li>複素数の範囲で2次方程式が常に解をもつことを理解し、2次方程式の解の公式、判別式、解と係数の関係などについて基礎的な知識を身に付けている。(定期考査)</li> </ul>	9
7月	3. 解と係数の関係			7
8月	総合問題演習	1章 複素数と方程式 1節 式の計算 2節 複素数と2次方程式 の既習事項を確認する総合問題演習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までで学んだ数学Ⅱの内容が理解できているか(定期考査)。</li> </ul>	6

	指導内容	科目数学Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	3節 高次方程式 1. 整式の除法 2. 剰余の定理と因数定理	・整式の除法、剰余の定理、因数定理について理解し、それらを用いて高次方程式を解けるようにする。	・整式の除法に関心をもつ。 ・剰余の定理や因数定理に関心をもち、高次方程式の解法に活用しようとする。 (授業態度) ・整式の除法について、商と余りの関係を考察することができる。 ・高次方程式の解法について、因数分解の公式や因数定理を用いて考察することができる。 (発問評価) ・整式の割り算ができる。 ・因数定理を用いて高次方程式を解くことができる。(課題提出・定期考査)	8
10月	3. 高次方程式 [チャレンジ] 高次方程式の応用		・剰余の定理・因数定理を整式の除法や高次方程式の解法と関連づけて理解し、基礎的な知識を身に付けている。(定期考査)	8
11月	2章 図形と方程式 1節 点と座標 1. 直線上の点の座標と内分・外分 2. 平面上の点の座標と内分・外分	・直線上の点や平面上の点について、その座標を理解し、内分点や外分点を考察する。	・座標を用いて平面上の点を表すことのよさをとらえ、いろいろな図形の考察に活用しようとする。 (授業態度) ・座標を用いて、2点間の距離や線分の内分点、外分点について考察することができる。 (発問評価) ・座標を用いて、平面上の点を表したり、2点間の距離や線分の内分点、外分点を求めることができる。 (課題提出・定期考査) ・2点間の距離や線分の内分点、外分点と座標との関係について理解し、点と座標に関する基礎的な知識を身に付けている。 (定期考査)	8
12月	2節 直線の方程式 1. 直線の方程式 2. 2直線の関係 [チャレンジ] 原点と直線の距離	・直線の方程式は、すべて $x$ と $y$ の方程式 $ax+by+c=0$ の形で表されることを学ぶ。 ・直線の傾きに注目して、ある直線に平行な直線や垂直な直線の方程式を求めることを学ぶ。	・直線が2元1次方程式で表せることに関心をもち、いろいろな直線を式で表そうとする。 ・2つの直線の位置関係に関心をもち、調べようとする。 (授業態度) ・2つの直線が平行であるための条件や垂直であるための条件を考察することができる。 ・2つの直線の交点と連立方程式の解との関係を考察することができる。 (発問評価) ・具体的に与えられた条件の下で直線を式で表すことができる。 ・2つの直線が平行および垂直であるかどうかを調べたり、2つの直線の交点を求めたりすることができる。 (課題提出・定期考査) ・2つの直線の平行条件および垂直条件を理解し、2つの直線の位置関係について基礎的な知識を身に付けている。 (定期考査)	7

	指導内容	科目数学Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	3節 円の方程式 1. 円の方程式 2. 円と直線の関係	・円の方程式について理解し、円と直線の位置関係および共有点の個数について学ぶ。	・円を方程式で表すことに関心をもち、いろいろな円を式で表そうとする。 ・円と直線の位置関係に関心をもち、調べようとする。(授業態度) ・円と直線の位置関係と、連立方程式の解との関係を考察することができる。(発問評価) ・具体的に与えられた条件の下で円を式で表すことができる。 ・方程式を用いて円と直線の位置関係を調べたり円と直線の交点を求めたりすることができる。(課題提出・定期考査) ・円と直線の位置関係について理解し、基礎的な知識を身に付けている。 (定期考査)	7
2 月	4節 不等式の表す領域 1. 円で分けられる領域 2. 直線で分けられる領域 3. 連立不等式の表す領域	・不等式を満たす点 $(x, y)$ の集合を領域ということがわかり、いろいろな不等式が表す領域を図示することができるようにする。	・ $x, y$ についての不等式がいろいろな図形を表すことに関心をもち、調べようとする。(授業態度) ・不等式と平面上の図形との関係について考察することができる。(発問評価) ・不等式で表される領域を図示したり、与えられた領域を不等式で表したりすることができる。(課題提出・定期考査) ・不等式を満たす点の集合が座標平面の一部分を表すことを理解し、不等式と領域についての基礎的な知識を身に付けている。(定期考査)	6
3 月				

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科理科 科目化学基礎 年間授業計画

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2単位

対象学年組：第3学年N組

教科担当者：(N組：外山 秋沙)

使用教科書：(2東書 化基314 東京書籍 改訂 新編 化学基礎)

使用教材：(ワークシート)

	指導内容	科目化学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1-1章 物質の成分と構成元素 ・物質の構成元素 ・物質の成分(単体と化合物)	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質は元素からつくられていることに気づく。</li> <li>物質を構成する元素は、約120種類あることを知る。</li> <li>純物質は、単体と化合物に分類されることを理解する。また、いくつかの元素には同素体があることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>元素の同素体について、違いについて科学的に説明できる。[発言分析・記述分析]</li> </ul>	8
5月	1-1章 物質の成分と構成元素 ・【実験】炎色反応 ・周期表1~20 ・混合物と純物質 1学期中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>元素を確認する方法に、炎色反応や沈殿の生成があることを理解する。</li> <li>金属の種類によって炎の色が異なることを確認する。</li> <li>炎色反応の色から、水溶液中に含まれる元素を推測する。</li> <li>炎色反応を利用している例として、花火があることを知る。</li> <li>元素の同素体について説明する。</li> <li>混合物から純物質を得るには、どのようにすればよいか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>炎色反応や沈殿の生成で、元素の種類を確認できることを理解している。[発言分析・記述分析]</li> <li>炎色反応についての実験を行い、元素の種類を推測するなど科学的に考察しようとしている。[発言分析・行動観察]</li> </ul>	9
6月	1-1章 物質の成分と構成元素 ・【実験】混合物の分離・精製 ・物質の三態 ・周期表1~20	<ul style="list-style-type: none"> <li>混合物から成分となる物質を分離する方法があり、それは物質の性質によるものであることを理解する。</li> <li>混合物に含まれる成分を、その性質の違いによって分離する方法を選択できる。</li> <li>身近な水以外の物質にも三態があることに気づく。</li> <li>物質が自然に広がっていく現象を拡散ということ、また、その現象は熱運動によることを理解する。</li> <li>物質の三態と状態間の変化を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>混合物に含まれる成分を、その性質の違いによって分離する方法を理解している。[発言分析・記述分析]</li> <li>状態変化には粒子の熱運動が関係していることを理解している。[発言分析・記述分析]</li> <li>実験の過程を注意深く観察し、状態変化に伴う変化を捉えようとしている。また、粒運動と物質の三態変化を探究し、これらの関係性を見いだして表現している。[行動観察・記録分析]</li> </ul>	10
7月	1-1章 物質の成分と構成元素 1学期期末考査 考査の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>状態変化による体積の変化に気づく。</li> <li>化学が日常生活に役立っている例を知る。</li> <li>物質の三態変化を、粒子のふるまい方で説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学と物質についての実験などを通して、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</li> <li>この章で身につけたことを友達と共有する。学習内容到達度について自己評価する。日常生活や社会と化学がつながった部分をまとめる [発言分析・記録分析]</li> </ul>	3
8月				0
9月	1-2章 原子の構造 ・原子の構造 ・電子配置とボーアモデル	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質を構成する粒子が原子であることに気づく。</li> <li>原子の大きさや構造について知る。</li> <li>原子の構造から陽子、中性子、電子の性質を理解する。</li> <li>原子番号は、原子に含まれる陽子の数であることを知る。</li> <li>質量数が陽子の数と中性子の数であることがわかり、同じ原子であっても質量数の異なるものがあることに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解している。[発言分析・記述分析]</li> <li>放射性同位体について、友達と話し合いながらそれらは身のまわりでどのように使われているという視点で考えようとしている。[発言分析・行動観察]</li> </ul>	10
10月	1-2章 原子の構造 ・電子配置とボーアモデル ・元素の周期表 1-3章 化学結合 ・化学結合 2学期中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子のモデルを用いて原子核の周囲に電子殻があることに気づく。</li> <li>電子配置で電子殻への電子の収まり方を知る。</li> <li>貴ガスの性質から閉殻を知り、極めて安定な電子配置があることに気づく。</li> <li>最外殻電子と価電子を知る。また貴ガスの場合はこれらの示しているものが違うことを知る。</li> <li>電子配置は原子番号の順に規則正しく変化することを理解する。</li> <li>身のまわりの物質は原子やイオンがどのような結びつきでできているかを考える。</li> <li>電子配置からイオンの生成を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子番号1~20までの代表的な典型元素の電子配置について理解している。[発言分析・記述分析]</li> <li>元素の周期律について規則性を見いだして表現している。元素の性質について考察する。[発言分析・記録分析]</li> <li>イオンの生成を電子配置と関連付けて理解している。[発言分析・記述分析]</li> </ul>	8

	指導内容	科目化学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 1 月	1-3章 化学結合 ・【実験】カルシウムを含む物質の 科学反応  2-2章 酸と塩基 ・【実験】水溶液の性質調べ ・酸塩基の定義・水素イオン濃度とpH	・分子は、非金属元素の原子が結びついてできた粒子であることを知る。 ・共有結合の形成、分子式や構造式について理解する。 ・身近な高分子化合物の構造について知る。 ・金属は、金属元素の原子が規則正しく配列してできた結晶であることを知る。 ・自由電子のふるまいがわかり、金属結合の仕組みを理解する。 ・金属の性質について理解する。 ・身近に使われている金属および合金の成分、それらの用途や性質を調べて発表する。 ・酸と塩基の性質について理解する。実験を通して確認する。	共有結合を電子配置と関連付けて理解している。 [発言分析・記述分析]  分子からなる物質の性質を理解している。 [発言分析・記述分析]  金属の性質及び金属結合を理解している。 [発言分析・記述分析]  金属とその用途について、友達と話し合いながらそれらは身のまわりでどのように使われているという視点で考えようとしている。 [発言分析・行動観察]	8
1 2 月	1-3章 化学結合 2-2章 酸と塩基 2学期期末考査	・水溶液の酸性・塩基性は、水素イオン濃度の大小で表せることを知る。 ・水溶液の水素イオン濃度は広い範囲で変化するため、pHでも表せることを理解する。	化学結合と物質の分類について、友達と話し合いながら規則性や関係性を解釈して表現しようという視点で考えようとしている。 [発言分析・行動観察]	3
1 月	2-3章 酸化還元反応 ・酸化還元反応	・酸化と還元は常に同時に起こることを知る。 ・酸素原子や水素原子が関係していない反応についても、酸化と還元が電子の授受によって統一的に説明できることを理解する。	酸と塩基の性質及び定義を理解している。 [発言分析・記述分析]  水溶液の酸性・塩基性は、水素イオン濃度やpHで表せることを理解している。 [発言分析・記述分析]  身近のまわりの物質のpHを測定し、友達と話し合いながら様々な比較を加えて考えようとしている。 [発言分析・行動観察]	8
2 月	2-3章 酸化還元反応 ・酸化還元反応	・酸化還元反応の化学反応式の作ることができ、この反応の量的関係を理解する。 ・実験観察を通して酸化剤としてはたらく物質は、より強い酸化剤との反応では還元剤となることを知る。	酸化と還元が電子の授受によることを理解している。 [発言分析・記述分析]  酸化と還元の定義について、友達と話し合いながら確認し、酸化数の増減について見いだす活動を行っている。 [発言分析・行動観察]	8
3 月	2-3章 酸化還元反応 ・1年間のまとめ 学年末考査	・実験観察を通して金属の陽イオンへのなりやすさを比較し、金属の反応性に違いがあることを知る。	金属のイオン化傾向について理解している。 [発言分析・記述分析]  金属の陽イオンへのなりやすさを比較測定し、友達と話し合いながら科学的に考察している。 [行動観察・記録分析]	3



東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科理科 科目理科発展 年間授業計画

教科：理科 科目：理科発展 単位数：2単位

対象学年組：第4学年N組

教科担当者：(N組：外山 秋沙)

使用教科書：(183第一 生基319 第一学習社 高等学校改訂 新生物基礎 及び、2東書 化基314 東京書籍 改訂 新編 化学基礎)

使用教材：(ワークシート)

	指導内容	科目理科発展の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイダンス</li> <li>植物のスケッチ</li> <li>葉脈標本の作製</li> <li>レポートの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書に載るような身近な理科実験を行い、基本的な実験操作を習得する。</li> <li>実験の安全管理について知識を身につけるとともに、学んだことを活用して実験を行う。</li> <li>観察・実験を通して科学的に探究する能力や態度を養う。</li> <li>事前学習を行い、操作の意味を理解しながら実験を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な理科実験の基本的な実験操作を習得している。[実験の操作、レポートの記述内容]</li> <li>安全に実験を行っている。[実験の操作]</li> <li>目的をもって観察、実験などを行い、科学的に探究し表現している。[レポートの記述内容]</li> <li>身近な理科実験に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。[実験の操作、レポートの記述内容]</li> </ul>	8
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの抽出</li> <li>スライムの作成</li> <li>薄層クロマトグラフィー</li> <li>レポートの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書に載るような身近な理科実験を行い、基本的な実験操作を習得する。</li> <li>実験の安全管理について知識を身につけるとともに、学んだことを活用して実験を行う。</li> <li>観察・実験を通して科学的に探究する能力や態度を養う。</li> <li>事前学習を行い、操作の意味を理解しながら実験を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な理科実験の基本的な実験操作を習得している。[実験の操作、レポートの記述内容]</li> <li>安全に実験を行っている。[実験の操作]</li> <li>目的をもって観察、実験などを行い、科学的に探究し表現している。[レポートの記述内容]</li> <li>身近な理科実験に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。[実験の操作、レポートの記述内容]</li> </ul>	9
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>吸水ポリマーの吸水力調べ</li> <li>ナイロン66の合成</li> <li>人工イクラの作成</li> <li>レポートの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書に載るような身近な理科実験を行い、基本的な実験操作を習得する。</li> <li>実験の安全管理について知識を身につけるとともに、学んだことを活用して実験を行う。</li> <li>観察・実験を通して科学的に探究する能力や態度を養う。</li> <li>事前学習を行い、操作の意味を理解しながら実験を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な理科実験の基本的な実験操作を習得している。[実験の操作、レポートの記述内容]</li> <li>安全に実験を行っている。[実験の操作]</li> <li>目的をもって観察、実験などを行い、科学的に探究し表現している。[レポートの記述内容]</li> <li>身近な理科実験に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。[実験の操作、レポートの記述内容]</li> </ul>	10
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察・実験を通して科学的に探究する能力や態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的をもって観察、実験などを行い、科学的に探究し表現している。[レポートの記述内容]</li> <li>身近な理科実験に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。[レポートの記述内容]</li> </ul>	3
8月				0
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験データの取り扱い(確率)</li> <li>透明骨格標本の作製</li> <li>カゼインプラスチックの作成</li> <li>ヨウ素デンプン反応を調べる</li> <li>レポートの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書に載るような身近な理科実験を行い、基本的な実験操作を習得する。</li> <li>実験の安全管理について知識を身につけるとともに、学んだことを活用して実験を行う。</li> <li>観察・実験を通して科学的に探究する能力や態度を養う。</li> <li>事前学習を行い、操作の意味を理解しながら実験を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な理科実験の基本的な実験操作を習得している。[実験の操作、レポートの記述内容]</li> <li>安全に実験を行っている。[実験の操作]</li> <li>目的をもって観察、実験などを行い、科学的に探究し表現している。[レポートの記述内容]</li> <li>身近な理科実験に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。[実験の操作、レポートの記述内容]</li> </ul>	10
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>糸電話の実験</li> <li>鶏頭の解剖</li> <li>タンパク質の変性実験</li> <li>レポートの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書に載るような身近な理科実験を行い、基本的な実験操作を習得する。</li> <li>実験の安全管理について知識を身につけるとともに、学んだことを活用して実験を行う。</li> <li>観察・実験を通して科学的に探究する能力や態度を養う。</li> <li>事前学習を行い、操作の意味を理解しながら実験を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な理科実験の基本的な実験操作を習得している。[実験の操作、レポートの記述内容]</li> <li>安全に実験を行っている。[実験の操作]</li> <li>目的をもって観察、実験などを行い、科学的に探究し表現している。[レポートの記述内容]</li> <li>身近な理科実験に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。[実験の操作、レポートの記述内容]</li> </ul>	8
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>透明骨格標本の作製</li> <li>鶏頭の解剖</li> <li>ペットボトルから繊維をつくる</li> <li>レポートの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書に載るような身近な理科実験を行い、基本的な実験操作を習得する。</li> <li>実験の安全管理について知識を身につけるとともに、学んだことを活用して実験を行う。</li> <li>観察・実験を通して科学的に探究する能力や態度を養う。</li> <li>事前学習を行い、操作の意味を理解しながら実験を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な理科実験の基本的な実験操作を習得している。[実験の操作、レポートの記述内容]</li> <li>安全に実験を行っている。[実験の操作]</li> <li>目的をもって観察、実験などを行い、科学的に探究し表現している。[レポートの記述内容]</li> <li>身近な理科実験に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。[実験の操作、レポートの記述内容]</li> </ul>	8

	指導内容	科目理科発展の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 2 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【鑑賞】脳のしくみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の安全管理について知識を身につける。</li> <li>・観察・実験を通して科学的に探究する能力や態度を養う。</li> <li>・鑑賞を通して、1月に行う実験の操作の意味を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に実験を行うための知識を身につけている。[レポートの記述内容]</li> <li>・身近な理科実験に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。[レポートの記述内容]</li> </ul>	3
1 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブタの頭部の構造を調べる</li> <li>・ブタ頭骨の解剖（脳の観察）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に載るような身近な理科実験を行い、基本的な実験操作を習得する。</li> <li>・実験の安全管理について知識を身につけるとともに、学んだことを活用して実験を行う。</li> <li>・観察・実験を通して科学的に探究する能力や態度を養う。</li> <li>・事前学習を行い、操作の意味を理解しながら実験を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な理科実験の基本的な実験操作を習得している。[実験の操作、レポートの記述内容]</li> <li>・安全に実験を行っている。[実験の操作]</li> <li>・目的をもって観察、実験などを行い、科学的に探究し表現している。[レポートの記述内容]</li> <li>・身近な理科実験に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。[実験の操作、レポートの記述内容]</li> </ul>	8
2 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・炭酸水素ナトリウムの熱分解</li> <li>・レポートの作成</li> <li>・発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に載るような身近な理科実験を行い、基本的な実験操作を習得する。</li> <li>・実験の安全管理について知識を身につけるとともに、学んだことを活用して実験を行う。</li> <li>・観察・実験を通して科学的に探究する能力や態度を養う。</li> <li>・事前学習を行い、操作の意味を理解しながら実験を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な理科実験の基本的な実験操作を習得している。[実験の操作、レポートの記述内容]</li> <li>・安全に実験を行っている。[実験の操作]</li> <li>・目的をもって観察、実験などを行い、科学的に探究し表現している。[レポートの記述内容、発表内容]</li> <li>・身近な理科実験に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。[実験の操作、レポートの記述内容、発表内容]</li> </ul>	8
3 月	1年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・実験を通して科学的に探究する能力や態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的をもって観察、実験などを行い、科学的に探究し表現している。[レポートの記述内容]</li> <li>・身近な理科実験に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。[実験の操作、レポートの記述内容]</li> </ul>	3

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科 保健体育 科目 体育 年間授業計画

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2単位

対象学年組：第4学年N組

教科担当者：(N組：佐藤・井上)

使用教科書：(「最新高等保健体育」(50 大修館 保体305) )

使用教材：(教科書 )

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	体育についての目標、評価規準、評価方法について理解できる。	観察・レポート	2
	体づくり運動	ストレッチ、体幹、軽いジョギングを行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づく。	観察	2
	体カテスト	定められた方法の通り正確に行う。 自己ベストが出せるように体調を整えることの重要性を理解する。	観察・記録	2
5月	体カテスト	定められた方法の通り正確に行う。 自己ベストが出せるように体調を整えることの重要性を理解する。	観察・記録	2
	ソフトボール	ソフトボールの特性やルール、学習のねらいや進め方を理解する。 ねらった方向への送球、体の正面での捕球を身に着ける。	観察	2
		バッティングの基礎を身に着ける。バットを立て、あごを上げず、両脇と手首をしめる自然体のフォームで構える。 Tスタンドを使用してゲームを行う。	観察	2
		バッティングの基礎を身に着ける。バットを立て、あごを上げず、両脇と手首をしめる自然体のフォームで構える。 Tスタンドを使用せずゲームを行う。	観察・レポート	2
6月	バレーボール	バレーボールの特性やルール、学習のねらいや進め方を理解する。 試しのゲームとして正規ルールで行ない基礎・基本の動きを学ぶ。	観察	2
		アンダーハンドパス、オーバーハンドパスなど基本的なボールコントロールを身に付ける。 コートの中にある場所に返球する技術を身に着ける。	観察	2
		アンダーハンドパス、オーバーハンドパスなど基本的なボールコントロールを身に付ける。 ラリー中に空いた場所をカバーして守備のバランスをとる。	観察	2
		アンダーハンドパス、オーバーハンドパスなど基本的なボールコントロールを身に付ける。 レシーブのボールコントロールを高めてトスにつなぐ。	観察	2
		これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。 相手コートの中にある場所にアタックをうつ。	観察・レポート	2
7月	バレーボール	これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。 サーブ権の有無により守備隊系を変更する。	観察	2
		これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。 相手コートの中にある場所にアタックをうつ。	観察	2
		これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。 サーブ権の有無により守備隊系を変更する。	観察・レポート	1
8月	体づくり	体づくり課題	レポート	2
	バスケットボール	バスケットボールの特性・ルールを理解する。また、自己や他者の安全や事故防止について学ぶ態度を身に着ける。	観察	2

指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
9 月	パス、ドリブルなど安定してボール操作ができるようにする。動きながら2人1組のパス交換で味方が取りやすい場所にパスができるようにする。	観察	2
	正しいシュートフォームを身に付ける。ゴール下付近のシュート方法を学び、板枠内にボールコントロールしてシュートを打つことができるようにする。	観察	2
	ボールを持ったときの動きとボールを持たない動きを理解する。オフザボールを使ってスペースを作る技術を身に着ける。	観察	2

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月		マンツーマンディフェンスの動きを理解する。ボールの動きに合わせて自分のマークする相手とボールの両方が見える構えを維持する動きを身に着ける。	観察	2
		仲間と作戦を立て、5対5の試合をオールコートで行う。得点を入れる戦略を考えながら仲間と連携を図る。	観察・レポート	2
	バドミントン	バドミンントンの特性やルール、学習のねらいや進め方を理解する。試しのゲームとして正規ルールで行ない基礎・基本の動きを学ぶ。	観察	2
		基本的な技術練習を通して、基礎・基本を身に付ける。簡易ゲームを通してゲーム時の戦術及び動きを学ぶ。	観察	2
11月		基本的な技術練習を通して、基礎・基本を身に付ける。簡易ゲームを通してゲーム時の戦術及び動きを学ぶ。	観察	2
		これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。相手や状況に応じた技能を高めながらシングルスを行う。	観察	2
		相手や状況に応じた技能を高めながらシングルスリーグ戦で行う。	観察	2
		相手や状況に応じた技能を高めながらダブルスを行う。	観察	2
12月		相手や状況に応じた技能を高めながらダブルスを行う。	観察	2
		相手や状況に応じた技能を高めながらシングルスとダブルスをリーグ戦を行う。	観察・レポート	2
1月	サッカー	サッカーの特性・ルールを理解する。また、自己や他者の安全や事故防止について学ぶ態度を身に着ける。	観察	1
		パス、ドリブルなど安定してボール操作ができるようにする。動きながら2人1組のパス交換で味方が取りやすい場所にパスができるようにする。	観察	2
		ボールを持ったときの動きとボールを持たない動きを理解する。オフザボールを使ってスペースを作る技術を身に着ける。	観察	2
		これまで練習してきた技能を活かしてリーグ戦に臨む。戦略を考えながら仲間と連携を図る。	観察・レポート	2
2月	体づくり運動 (縄跳び、シャトルラン等)	運動を継続する意義、体の構造について理解する。	観察	2
		運動不足の解消や体調維持のために食事や睡眠などの生活習慣の改善も含めバランスのよい組み合わせで運動の計画を立てられるようにする。	観察	2
		定められた方法の通り正確に行う。自己ベストが出せるように体調を整えることの重要性を理解する。	観察	2
		定められた方法の通り正確に行う。自己ベストが出せるように体調を整えることの重要性を理解する。	観察	2
3月		定められた方法の通り正確に行う。自己ベストが出せるように体調を整えることの重要性を理解する。	観察	2
		定められた方法の通り正確に行う。自己ベストが出せるように体調を整えることの重要性を理解する。	観察・レポート	2

指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科 英語 科目 英語表現 年間授業計画

教科：英語 科目：英語表現 単位数：2単位

対象学年組：第4学年N組

教科担当者：(N組：佐々木友子 Geoffrey Brown )

使用教科書：(増進堂英 I 334 Mainstream English Expression I )

使用教材：(教科書及び自作プリント )

	指導内容	英語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	授業開き オリエンテーション  AET の先生との授業  英語の歌① Aprii Come She Will  英語の歌② Aprii Come She Will	授業のしかたを理解し、主体的に学ぶにはどうすればいいかを考えさせる。  休み、何をしていたかを聞き取る。自分が何をしたかを英語で表現する。  リスニングし、デクテーションする。重要新出単語を学ぶ。  歌詞の内容は、英詩が元になっていることを理解する。	毎回の授業での発表や取り組みを細かく点数化、提出物	5
5月	Lesson 1 Nice to meet you ①  Lesson 1 Nice to meet you ②  Lesson 1 Nice to meet you ③  Charoを見る①  Charoを見る②	レッスンで学ぶ語句を理解し、発音し聞き取れるようにする。自己紹介の時に気を付けるマナーを理解する。  Model dialogue をリスニングする。重要な文法を学ぶ。ペアになって会話を練習し、皆の前で発表する。  自分のことについて、発表できるようになる。自分の名前の由来について、英語で話せるようになる。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。  リスニング、デクテーションを行う。内容についての英問英答を行う。Key Sentence を暗唱する。英作文を行う。  簡単な内容のリスニング、デクテーションを行う。内容についての英問英答を行う。Key Sentence を暗唱する。英作文を行う。		7
6月	Sean先生とのSpeaking test  Lesson 4 This coming weekeend ①  Lesson 4 This coming weekeend ②  Lesson 4 This coming weekeend ③  期末試験前の復習	主体的に、英語でコミュニケーションを取り、間違いを恐れずに自分の伝えたいことを表現できる姿勢を育む。  レッスンで学ぶ語句を理解し、発音し聞き取れるようにする。自己紹介の時に気を付けるマナーを理解する。  Model dialogue をリスニングする。重要な文法を学ぶ。ペアになって会話を練習し、皆の前で発表する。  自分のことについて、発表できるようになる。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。  試験対策のプリントを良く見て、理解しテスト勉強をし、7割以上の得点を目指す。	毎回の授業での発表や取り組みを細かく点数化、提出物	9
7月	期末試験  答案返却  補習	試験で間違えたところを復習し、自分のウィークポイントを知り、次の試験に活かす  成績不良者への補習 基礎的なことを繰り返し行う	定期試験、試験の間違い直しを提出、ファイル提出	7

	指導内容	英語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
	夏休みの課題①	1学期に学んだ単語、文法のプリントを配布し、1学期の復習を行う。		
8 月	夏休みの課題②  夏休みの課題③  夏休みの課題④	1学期に学んだ単語、文法を使って日記を書く。お手本を見ながら、自分の言いたいことを伝えられる方法を身につける。  自分の好きな洋楽の歌詞を書写する。わからない単語を調べ、日本語訳を書く。好きな歌のサビを歌えるようになる。  身近なカタカナ英語の由来を調べ、レポートにまとめる。語源を知ること、言葉についての興味関心を深める。	課題提出	6



	指導内容	英語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	2学期授業開き	夏休み 何をしたか 英語でリスニングし、自分が何をしたかを、簡単な英語で表現できるようになる。	毎回の授業での発表や取り組みを細かく点数化、提出物	8
	英語の歌①	リスニングし、デクテーションする。重要新出単語を学ぶ。		
	英語の歌②	Key sentence を暗唱する。内容について、英問英答ができるようになる。		
	Lesson 5 Subjects I'm taking ①	レッスンで学ぶ語句を理解し、発音し聞き取れるようにする。予定を聞くときに気を付けるマナーを理解する。		
	Lesson 5 Subjects I'm taking ②	Model dialogue をリスニングする。重要な文法を学ぶ。ペアになって会話を練習し、皆の前で発表する。		
10月	Lesson 5 Subjects I'm taking ③	自分のことについて、発表できるようになる。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。	毎回の授業での発表や取り組みを細かく点数化、提出物	8
	英語の歌①	リスニングし、デクテーションする。重要新出単語を学ぶ。		
	英語の歌②	Key sentence を暗唱する。内容について、英問英答ができるようになる。		
	時計、数字の読み方①	英語の数字(百～兆)までの読み方ができるようになる。		
	時計、数字の読み方②	時計、電話番号の読み方ができるようになる。		
11月	Lesson 9 The store I often go to ①	レッスンで学ぶ語句を理解し、発音し聞き取れるようにする。予定を聞くときに気を付けるマナーを理解する。	毎回の授業での発表や取り組みを細かく点数化、提出物、定期試験。ファイル提出	8
	Lesson 9 The store I often go to ②	Model dialogue をリスニングする。重要な文法を学ぶ。ペアになって会話を練習し、皆の前で発表する。		
	Lesson 9 The store I often go to ③	自分のことについて、発表できるようになる。英語で話せるようになる。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。		
	期末試験前の復習	試験対策のプリントを良く見て、理解しテスト勉強をし、7割以上の得点を目指す。		
	Sean先生とのSpeaking test	主体的に、英語でコミュニケーションを取り、間違いを恐れずに自分の伝えたいことを表現できる姿勢を育む。	スピーキングテスト(発音や主体的に英語を話そうと努力したか。)	
12月	期末試験 答案返却	試験で間違えたところを復習し、自分のウィークポイントを知り、次の試験に活かす		7
	クリスマス、新年のあいさつ Greeting card の書き方	クリスマス、新年のあいさつを学び、カードが書けるようになる。あいさつとして正しい発音で言えるようになる。		
	補習	成績不良者への補習 基礎的なことを繰り返す。		
	冬休みの課題	冬休みの宿題 2学期の新出単語、文法事項の復習		
	Lesson10 I feel sick①	レッスンで学ぶ語句を理解し、発音し聞き取れるようにする。自己紹介の時に気を付けるマナーを理解する。		

	指導内容	英語表現の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	Lesson10 I feel sick②	Model dialogue をリスニングする。重要な文法を学ぶ。ペアになって会話を練習し、皆の前で発表する。	毎回の授業での発表や取り組みを細かく点数化、提出物、定期試験。ファイル提出	7
	Lesson10 I feel sick③	自分のことについて、発表できるようになる。Today's Questionに英語で答える。Today's sentence を暗唱する。短い英作文をする。		
	The last lesson ①	高校生活最後の授業にふさわしい題材を選び授業をする。英語の読みものを読み、考えさせる。自分の考えを英語で表現できるようにする。	自分の考えをまとめ、平易な英語で感想を書く。	
	The last lesson ②	高校生活最後の授業にふさわしい題材を選び授業をする。英語の読みものを読み、考えさせる。自分の考えを英語で表現できるようにする。		
2 月	試験対策	試験対策のプリントを良く見て、理解しテスト勉強をし、7割以上の得点を目指す。		6
	補習  課題	成績不良者への補習		
3 月	自宅学習期間につき授業なし			0
				78

## 東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科 農業 科目課題研究 年間授業計画

教科：農業 科目：課題研究 単位数：3単位

対象学年組：第4学年N組

教科担当者：(N組：星野 浦崎 家田 )

使用教科書：( 実教出版 野菜 草花 食品製造, 7実教 実教出版 農業304 草花, 7実教 実教出版 農業311 野菜 )

使用教材：( 授業プリント )

	指導内容	科目:課題研究の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	各個人ごとに、課題設定、研究計画を立てさせる。  1学期の授業ごとの計画を立てさせる。	年間を見通した課題を設定し、研究期間が適切になるように指導する。  1学期を見通した研究内容になるように指導する。	関心・意欲・態度(4点) 研究テーマに基づいた調査、作品制作、資格取得に興味・関心を持ち意欲的な取り組みが見られる。  思考・判断(2点) 観察、調査、考察が的確にできているか。  技能・表現(2点) 年間計画・学期・月別計画の立案が十分である。  知識・理解(2点) テーマに関する基礎的な知識を理解した。	12
5月	1学期の授業ごとの計画を立てたものを評価し、実際の研究の実習に取り組みさせる。	計画、実験、まとめ、反省、計画、実験、まとめ、反省のサイクルを意識した指導を行う。	関心・意欲・態度(4点) 研究テーマに基づいた調査、作品制作、資格取得に興味・関心を持ち意欲的な取り組みが見られる。  思考・判断(2点) 観察、調査、考察が的確にできているか。  技能・表現(2点) 年間計画・学期・月別計画の立案が十分である。  知識・理解(2点) テーマに関する基礎的な知識を理解した。	15
6月	1学期の授業ごとの計画通りに進捗していることを確認しつつ、実際の研究の実習に取り組みさせる。	計画、実験、まとめ、反省、計画、実験、まとめ、反省のサイクルを意識した指導を行う。	関心・意欲・態度(4点) 研究テーマに基づいた調査、作品制作、資格取得に興味・関心を持ち意欲的な取り組みが見られる。  思考・判断(2点) 観察、調査、考察が的確にできているか。  技能・表現(2点) 年間計画・学期・月別計画の立案が十分である。  知識・理解(2点) テーマに関する基礎的な知識を理解した。	15
7月				0
8月				0
	2学期の授業ごとの計画を立てさせる。	計画、実験、まとめ、反省、計画、実験、まとめ、反省のサイクルを意識した指導を行う。	関心・意欲・態度(4点) 研究テーマに基づいた調査、作品制作、資格取得に興味・関心を持ち意欲的な取り組みが見られる。	

指導内容	科目: 課題研究の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>9月</p> <p>2学期の授業ごとの計画通りに進捗していることを確認しつつ、実際の研究の実習に取り組ませる。</p>		<p>思考・判断(2点) 観察、調査、考察が的確にできているか。</p> <p>技能・表現(2点) 年間計画・学期・月別計画の立案が十分である。</p> <p>知識・理解(2点) テーマに関する基礎的な知識を理解した。</p>	15

	指導内容	科目:課題研究の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	2学期の授業ごとの計画通りに進捗していることを確認しつつ、実際の研究の実習に取り組ませる。  発表会に向けて計画通りに進捗していることを確認しつつ、実際の研究の発表準備に取り組ませる。	計画、実験、まとめ、反省、計画、実験、まとめ、反省のサイクルを意識した指導を行う。  課題研究発表会に向けた、スケジュールを意識させ、課題研究の要旨集を作り始める。	関心・意欲・態度(4点) 研究テーマに基づいた調査、作品制作、資格取得に興味・関心を持ち意欲的な取り組みが見られる。  思考・判断(2点) 観察、調査、考察が的確にできているか。  技能・表現(2点) 年間計画・学期・月別計画の立案が十分である。  知識・理解(2点) テーマに関する基礎的な知識を理解した。	15
11月	2学期の授業ごとの計画通りに進捗していることを確認しつつ、実際の研究の実習に取り組ませる。  発表会に向けて計画通りに進捗していることを確認しつつ、実際の研究の発表準備に取り組ませる。	計画、実験、まとめ、反省、計画、実験、まとめ、反省のサイクルを意識した指導を行う。  課題研究発表会に向けた、スケジュールを意識させ、課題研究の要旨集を作り始める。  要旨集を完成させた生徒から、発表会用のパワーポイントのファイルを作り始める。	関心・意欲・態度(4点) 研究テーマに基づいた調査、作品制作、資格取得に興味・関心を持ち意欲的な取り組みが見られる。  思考・判断(2点) 観察、調査、考察が的確にできているか。  技能・表現(2点) 年間計画・学期・月別計画の立案が十分である。  知識・理解(2点) テーマに関する基礎的な知識を理解した。	15
12月	2学期の授業ごとの計画通りに進捗していることを確認しつつ、実際の研究の実習に取り組ませる。  発表会に向けて計画通りに進捗していることを確認しつつ、実際の研究の発表準備に取り組ませる。	計画、実験、まとめ、反省、計画、実験、まとめ、反省のサイクルを意識した指導を行う。  要旨集を完成させた生徒から、発表会用のパワーポイントのファイルを作り始める。	関心・意欲・態度(4点) 研究テーマに基づいた調査、作品制作、資格取得に興味・関心を持ち意欲的な取り組みが見られる。  思考・判断(2点) 観察、調査、考察が的確にできているか。  技能・表現(2点) 年間計画・学期・月別計画の立案が十分である。  知識・理解(2点) テーマに関する基礎的な知識を理解した。	6
1月	発表会に向けて計画通りに進捗していることを確認しつつ、実際の研究の発表準備に取り組ませる。	計画、実験、まとめ、反省、計画、実験、まとめ、反省のサイクルを意識した指導を行う。  発表会用の、発表原稿を作り、発表会に向けた準備を行う。	関心・意欲・態度(4点) 研究テーマに基づいた調査、作品制作、資格取得に興味・関心を持ち意欲的な取り組みが見られる。  思考・判断(2点) 観察、調査、考察が的確にできているか。  技能・表現(2点) 年間計画・学期・月別計画の立案が十分である。  知識・理解(2点) テーマに関する基礎的な知識を理解した。	12

	指導内容	科目:課題研究の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	1年間の、課題研究のまとめを作成させる。	1年間の反省、感想、後輩に向けたアドバイスを作文する。	<p>関心・意欲・態度(4点) 研究テーマに基づいた調査、作品制作、資格取得に興味・関心を持ち意欲的な取り組みが見られる。</p> <p>思考・判断(2点) 観察、調査、考察が的確にできているか。</p> <p>技能・表現(2点) 年間計画・学期・月別計画の立案が十分である。</p> <p>知識・理解(2点) テーマに関する基礎的な知識を理解した。</p>	12
3 月				0

## 農産高等学校令和5年度 教科：農業 科目：草花 年間授業計画

教科：農業 科目：草花 単位数：2単位

対象学年組：第4学年

教科担当者：家田 常盤 相川

使用教科書：（7実教 実教出版 農業304 草花）

使用教材：（定時制農場で栽培している草花や農業資材など）

	指導内容	科目草花の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	品種改良と繁殖 ・草花の品種と品種改良 ・品種改良/過程と方法 ・F1品種・草花の繁殖方法	・実習を通して身に着けた技術と座学で学んだ知識を関連づけた授業を展開する。 ・草花の生育環境を調節するための施設の機能について理解させ、施設を利用して草花の生育環境を制御できる知識と技術を習得させる	・課題・提出物等の内容 ・提出期限を守れるかや授業中の態度を評価する ・実習の中で知識・技能の確認する ・授業中の発言やグループワークでの発言から積極性を評価する ・実習の中で自ら考え行動し積極的に参加できるかを評価する ・教員の指示をよく聞き、安全に行動できるかを評価する	12
5月	品種改良と繁殖 ・草花の品種と品種改良 ・品種改良/過程と方法 ・F1品種・草花の繁殖方法	同上	・課題・提出物等の内容 ・提出期限を守れるかや授業中の態度を評価する ・実習の中で知識・技能の確認する ・授業中の発言やグループワークでの発言から積極性を評価する ・実習の中で自ら考え行動し積極的に参加できるかを評価する ・教員の指示をよく聞き、安全に行動できるかを評価する	8
6月	品種改良と繁殖 ・種子繁殖/種子のつくりと発芽 ・播種・栄養繁殖/さし木・つぎ木	同上	・課題・提出物等の内容 ・提出期限を守れるかや授業中の態度を評価する ・実習の中で知識・技能の確認する ・授業中の発言やグループワークでの発言から積極性を評価する ・実習の中で自ら考え行動し積極的に参加できるかを評価する ・教員の指示をよく聞き、安全に行動できるかを評価する	10
7月				0
8月				0
9月	品種改良と繁殖 ・栄養繁殖/取り木 ・株分け ・分球 ・バイオテクノロジー/組織培養	・実習を通して身に着けた技術と座学で学んだ知識を関連づけた授業を展開する。 ・草花の生育環境を調節するための施設の機能について理解させ、施設を利用して草花の生育環境を制御できる知識と技術を習得させる	・課題・提出物等の内容 ・提出期限を守れるかや授業中の態度を評価する ・実習の中で知識・技能の確認する ・授業中の発言やグループワークでの発言から積極性を評価する ・実習の中で自ら考え行動し積極的に参加できるかを評価する ・教員の指示をよく聞き、安全に行動できるかを評価する	10
10月	品種改良と繁殖 ・栄養繁殖/取り木 ・株分け ・分球 ・バイオテクノロジー/組織培養	同上	・課題・提出物等の内容 ・提出期限を守れるかや授業中の態度を評価する ・実習の中で知識・技能の確認する ・授業中の発言やグループワークでの発言から積極性を評価する ・実習の中で自ら考え行動し積極的に参加できるかを評価する ・教員の指示をよく聞き、安全に行動できるかを評価する	12
11月	草花の生育と栽培技術 ・土壌/性質と管理 ・肥料/成分と種類 ・かん水	同上	・課題・提出物等の内容 ・提出期限を守れるかや授業中の態度を評価する ・実習の中で知識・技能の確認する ・授業中の発言やグループワークでの発言から積極性を評価する ・実習の中で自ら考え行動し積極的に参加できるかを評価する ・教員の指示をよく聞き、安全に行動できるかを評価する	12
12月				
1月	1年間のまとめ	・草花の栽培管理 ・総まとめ	・課題・提出物等の内容 ・提出期限を守れるかや授業中の態度を評価する ・実習の中で知識・技能の確認する ・授業中の発言やグループワークでの発言から積極性を評価する ・実習の中で自ら考え行動し積極的に参加できるかを評価する	7
	1年間のまとめ	・草花の栽培管理 ・総まとめ	・課題・提出物等の内容 ・提出期限を守れるかや授業中の態度を評価する ・実習の中で知識・技能の確認する	

	指導内容	科目草花の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月			<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の中で知識・技能の確認する</li> <li>・授業中の発言やグループワークでの発言から積極性を評価する</li> <li>・実習の中で自ら考え行動し積極的に参加できるかを評価する</li> </ul>	7
3 月				0



年間授業計画様式

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科農業科目食品製造 年間授業計画

教科：農業科 目：食品製造 単位数：2単位

対象学年組：第4学年N組

教科担当者：(N組：浦崎 美有 ㊦ 大野 由賀理 ㊦ 鈴木 智美 ㊦)

使用教科書：(7実教 実教出版 農業305 食品製造)

使用教材：(授業プリント)

	指導内容	科目食品製造の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	実習の注意点、実習室の使用方法、衛生チェックの流れ、成績の付け方を説明する。	出欠席の状況、授業態度、実習着の準備、レポートの中身や提出状況などを総合的に評価する	2
	マヨネーズの製造① 卵の種類と特徴①	マヨネーズの製造方法を身につけさせる。 乳化の原理を理解させる。 卵の種類と特徴について理解させる。		2
	マヨネーズの製造② 卵の種類と特徴②	マヨネーズの製造方法を身につけさせる。 乳化の原理を理解させる。 卵の種類と特徴について理解させる。		2
	マヨネーズの製造まとめ	実習のまとめを行う。		2
5月	プリン①の製造① 卵の加工特性①	プリンの製造方法を身につけさせる。 プリンの凝固原理を理解させる。 卵の加工特性を理解させる。	出欠席の状況、授業態度、実習着の準備、レポートの中身や提出状況などを総合的に評価する	2
	プリン②の製造② 卵の加工特性②	プリンの製造方法を身につけさせる。 プリンの凝固原理を理解させる。 卵の加工特性を理解させる。		2
	プリンの製造まとめ	実習のまとめを行う。		2
	ヨーグルト①の製造① 乳の加工特性①	ヨーグルトの製造方法を身につけさせる。 乳の加工特性を理解させる。		2
	ヨーグルト②の製造② 乳の加工特性②	ヨーグルトの製造方法を身につけさせる。 乳の加工特性を理解させる。		2
6月	ヨーグルトの製造まとめ	実習のまとめを行う。	出欠席の状況、授業態度、実習着の準備、レポートの中身や提出状況などを総合的に評価する	2
	酸乳飲料①の製造① 牛乳の製造について	酸乳飲料の製造原理を理解させる。 牛乳の製造過程を理解させる。		2
	酸乳飲料②の製造② 牛乳の製造について	酸乳飲料の製造原理を理解させる。 牛乳の製造過程を理解させる。		2
	酸乳飲料の製造まとめ	実習のまとめを行う		2
7月	考查前座学	考查に向けて対策講義を行う。	考查の点数及び授業ファイルなどの提出物により評価する。  夏季休業中の課題により評価する。	2
	期末考查	1学期に習得した知識の確認を行う。		1
	答案返却	答案の返却を行う。		1
	夏季休業中課題	乳加工品の一つ選び歴史、特徴、原料、製造方法などについて調べ、まとめる。		3

	指導内容	科目食品製造の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				0
9 月	チーズケーキの製造① 乳酸発酵①	チーズケーキの製造方法を身につけさせる。 乳酸発酵について理解させる。	出欠席の状況、授業態度、実 習着の準備、レポートの中身 や提出状況などを総合的に評 価する	2
	チーズケーキの製造② 乳酸発酵②	チーズケーキの製造方法を身につけさせる。 乳酸発酵について理解させる。		2
	チーズケーキの製造まとめ	実習のまとめを行う。		2
	ケーキサレの製造① チーズの種類と特徴①	ケーキサレの製造方法を身につけさせる。 チーズの種類と製造法について理解させる。		2

	指導内容	科目食品製造の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 0 月	ケーキサレの製造② チーズの種類と特徴②	ケーキサレの製造方法を身につけさせる。 チーズの種類と製造法について理解させる。	出欠席の状況、授業態度、実 習着の準備、レポートの中身 や提出状況などを総合的に評 価する	2
	ケーキサレの製造まとめ	実習のまとめを行う。		2
	中華まんじゅうの製造①	中華まんじゅうの製造に向けて肉だねの製造を行う。 包丁の使い方を身につけさせる。		2
	中華まんじゅうの製造② 肉の加工特性①	中華まんじゅうの製造方法を身につけさせる。 肉の加工特性について理解させる。		2
	中華まんじゅうの製造③ 肉の加工特性②	中華まんじゅうの製造方法を身につけさせる。 肉の加工特性について理解させる。		2
1 1 月	中華まんじゅうの製造まとめ	実習のまとめを行う。	出欠席の状況、授業態度、実 習着の準備、レポートの中身 や提出状況などを総合的に評 価する	2
	さつまあげの製造① 魚肉の加工①	さつまあげの製造方法を身につけさせる。 三枚おろしを習得させる。 魚肉の加工について理解させる。		2
	さつまあげの製造② 魚肉の加工②	さつまあげの製造方法を身につけさせる。 三枚おろしを習得させる。 魚肉の加工について理解させる。		2
	さつまあげの製造まとめ	実習のまとめを行う。		2
	考查前座学	考查に向けて対策講義を行う。		2
1 2 月	期末考查	2学期で学習した知識の確認を行う。	考查の点数及び授業ファイル などの提出物により評価す る。  冬季休業中の課題により評価 する。	1
	答案返却	答案の返却を行う。		1
	冬季休業中課題	デコレーションケーキのデザイン案を考える。		3
1 月	デコレーションケーキの製造① デコレーションケーキとは①	ナッペとトッピングの技術を体験させる。 デコレーションケーキに関する基礎知識を理解させる。	出欠席の状況、授業態度、実 習着の準備、レポートの中身 や提出状況などを総合的に評 価する	2
	デコレーションケーキの製造② デコレーションケーキとは②	ナッペとトッピングの技術を体験させる。 デコレーションケーキに関する基礎知識を理解させる。		2
	デコレーションケーキの製造まとめ	実習のまとめを行う。		2
	考查前座学	考查に向けて対策講義を行う。		2
2 月	学年末考查	1年間に習得した知識の確認を行う。	考查の点数及び授業ファイル などの提出物により評価す る。	1
	答案返却	答案の返却を行う。		1
	1年間のまとめ	1年間で学習したことのまとめを行う。		2

指導内容	科目食品製造の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
3 月			0

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科農業 科目園芸デザイン 年間授業計画

教科：農業 科目：園芸デザイン 単位数：2単位

対象学年組：第4学年N組

教科担当者：(N組：佐藤 相川 常盤)

使用教科書：(7実教 実教出版 農業304 草花)

使用教材：(自作実習冊子)

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	授業ガイダンス  ヴァーティカルライン  トライアングュラススタイル	実習の事前指導  フラワーアレンジメントについて学習する  基本型について理解する	作品  レポート  態度	8
5月	ラディエイティングスタイル  水平線スタイル  ラウンドスタイル	基本型について理解する	作品  レポート  態度	6
6月	フレーミング  バスケットポケー  フレグランスポケー	基本型で得た知識を活かし、アレンジメントを学ぶ  ポケー(ブーケ)について学ぶ	作品  レポート  態度	8
7月				0
8月				0
9月	野菜と花のハーモニー  押し花デザイン  ウォールデザイン I	基本型で得た知識を活かし、アレンジメントを学ぶ  押し花作品をつくり、コンテストに応募する	作品  レポート  態度	10
10月	センターピース I  ハローウィン  ドライフラワーアレンジメント	基本形について理解する  基本形で得た知識を活かし季節に合った作品を作る	作品  レポート  態度	8
11月	農産祭準備  センターピース II	学んできた知識、技術を生かし農産祭で作品を展示する。  基本型で得た知識を活かし、季節に合った作品を作る	作品  レポート	16

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	トビアリービザンチンコーン		態度	
1 2 月	クリスマスリース	基本型で得た知識を活かし、季節に合ったアレンジメントをつくる	作品  レポート  態度	10
1 月	花くぼりギフトと花I  ボケーホルダーボケー	花くぼりについて学ぶ  基本型で得た知識を活かし、季節に合ったアレンジメントとボケーをつくる	作品  レポート  態度	8
2 月				0
3 月	コーサージ	コーサージについて学ぶ	作品  レポート  態度	4

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科農業科目食品技術 年間授業計画

教科：農業科 目：食品技術 単位数：2単位

対象学年組：第4学年N組

教科担当者：(N組：浦崎 美有 ㊦ 大野 由賀理 ㊦ )

使用教科書：( 7実教 実教出版 農業305 食品製造 )

使用教材：( 授業プリント )

	指導内容	科目食品技術の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	オリエンテーション	実習の注意点、実習室の使用方法、衛生チェックの流れ、成績の付け方を説明する。	出欠席の状況、授業態度、実習着の準備、レポートの中身や提出状況などを総合的に評価する	2
	生イチゴジャムの製造準備	材料の計量、器具の準備を行う。 ゲル化の三要素について理解させる。		2
	生イチゴジャムの製造	フレッシュイチゴと冷凍イチゴでジャムを製造した際の違いを理解させる。 ゲル化の三要素の復習。		2
	カップケーキの製造準備	材料の計量、器具の準備を行う。 チョコレートの種類と特徴について学習する。		2
5 月	カップケーキの製造	膨張剤の種類と膨らむ原理を理解させる。	出欠席の状況、授業態度、実習着の準備、レポートの中身や提出状況などを総合的に評価する	2
	シフォンケーキ製造準備	材料の計量と器具の準備を行う。 卵の加工特性の一つである起泡性について理解させる。		2
	シフォンケーキ製造	卵の加工特性の一つである起泡性について理解させる。 メレンゲのたて方を身につけさせる。		2
	手ごねパンの製造準備	材料の計量と器具の準備を行う。 パンの製造原理を理解させる。		2
	手ごねパンの製造	手ごねでのパンの製造技術を身につけさせる。		2
6 月	ロールパンの製造準備	材料の計量、器具の準備を行う。 パンの主原料とロールパンについて理解させる。	出欠席の状況、授業態度、実習着の準備、レポートの中身や提出状況などを総合的に評価する	2
	ロールパンの製造	手ごねでのパンの製造技術を身につけさせる。		2
	実技テスト（計量と対策）	手ごねパンの実技テストに向けて、計量と対策を行う。 テスト対策用のメモを作成させる。		2
	実技テスト	ロールパンの成型方法・技術が身につけているか確認する。		2
	考查前座学	期末考查に向けて対策講義を行う。		2
7 月	期末考查	1学期に身につけた知識の確認を行う。	考查の点数及び授業ファイルなどの提出物により評価する。  夏季休業中の課題により評価する。	1
	答案返却	答案の返却を行う。		1
	夏季休業中課題	パンについて調べ、まとめる。		3

	指導内容	科目食品技術の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
8 月				



	指導内容	科目食品技術の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	菓子パンの製造準備	材料の計量、器具の準備を行う。 直ごね法と中種法によるパンの製造原理を理解させる。	出欠席の状況、授業態度、実習着の準備、レポートの中身や提出状況などを総合的に評価する	2
	あんぱんの製造	菓子パンの種類と特徴について学習する。 直ごね法によるパンの製造方法を身につけさせる。		2
	クッキーパンの製造	中種法によるパンの製造方法を身につけさせる。		2
	塩パンの製造準備	材料の計量、器具の準備を行う。 食パンの特徴と準強力粉について理解させる。		2
	塩パンの製造	準強力粉を使用したパンの特徴を理解させる。 ロールパンの成型方法を復習する。		2
10月	山型食パンの製造準備	材料の計量、器具の準備を行う。 食パンの種類と特徴について理解させる。	出欠席の状況、授業態度、実習着の準備、レポートの中身や提出状況などを総合的に評価する	2
	山形食パンの製造	食パンの種類と特徴について学習する。 業務用機器の種類と使用方法について学習する。		2
	ジャム大量生産①	文化祭に向けて販売用製品の製造を行う。 大量生産実習の作業を体験させる。		2
	ジャム大量生産①	文化祭に向けて販売用製品の製造を行う。 大量生産実習の作業を体験させる。		2
	ジャム大量生産②	文化祭に向けて販売用製品の製造を行う。 大量生産実習の作業を体験させる。	2	2
11月	シュリンク、ラベル貼り	製品のチェック、ラベル張りを行う。	出欠席の状況、授業態度、実習着の準備、レポートの中身や提出状況などを総合的に評価する	2
	ガトーショコラの製造	チョコレートの種類と特徴を理解させる。 別立て法による菓子の製造方法を身につけさせる。		2
	ガトーショコラの製造	チョコレートの種類と特徴を理解させる。 別立て法による菓子の製造方法を身につけさせる。		2
	考查前座学	期末考查に向けてテスト対策講義を行う。		2
12月	期末考查	2学期に身につけた知識の確認を行う。	考查の点数及び授業ファイルなどの提出物により評価する。	1
	答案返却	答案の返却を行う。		1
	冬季休業中課題	ケーキについて種類、特徴、原産国、歴史等を調べて、まとめる。	冬季休業中の課題により評価する。	3
1月	ジェノワーズの製造準備	材料の計量、器具の準備を行う。 別立て法と共立て法によるスポンジ生地製造原理を理解させる。	出欠席の状況、授業態度、実習着の準備、レポートの中身や提出状況などを総合的に評価する	2
	ジェノワーズの製造	共立て法によるスポンジ生地製造技術を身につけさせる。		2
	実技テスト準備	材料の計量、器具の準備を行う。		2

	指導内容	科目食品技術の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
	実技テスト	実技テストに向けてメモの作成をさせる。  ジェノワーズの製造方法・技術が身についているか確認する。		2
2 月	学年末考査	1年間で身につけた知識の確認を行う。	考査の点数及び授業ファイルなどの提出物により評価する。	1
	答案返却	答案の返却を行う。		1
	1年間のまとめ	1年間に学習した内容のまとめを行う。		2
3 月				

東京都立農産高等学校 定時制課程 令和5年度 教科商業科目情報処理 年間授業計画

教科：商業 科目：情報処理 単位数：2単位

対象学年組：第4学年N組

教科担当者：(N組：須賀美恵子)

使用教科書：(商業342 情報処理 新訂版)

使用教材：(商業342 情報処理 新訂版)

	指導内容	情報処理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1章情報の活用と情報モラル 1節 ビジネスと情報 2節 情報モラル 3節 ハードウェアとソフトウェア 2章情報通信ネットワークとセキュリティ管理 1節 情報通信ネットワークの概要 2節 ビジネス情報の検索と収集 3節 ビジネス情報の受信と送信 4節 セキュリティ管理の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCを使う上での姿勢やパソコン室の利用方法を教える。</li> <li>・何回かタッチメソッドの練習をさせ、正確にキーが押せるようにする。</li> <li>・情報通信ネットワークの概要とビジネスにおけるインターネットの様々な利用方法やその効果について学ぶ。</li> <li>・情報通信ネットワークを利用したビジネス情報の検索と活用方法について学ぶ。</li> <li>・電子メールの利用方法について学ぶ。</li> <li>・情報化社会に参画するために個人が身につけるべきセキュリティ管理の方法について学ぶ。</li> </ul>	ホームポジションとタッチメソッドについて理解し、根気よく取り組んでいるか。	5
5月	3章ビジネス情報の処理と分析 1節 基本的な表の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータや周辺機器の仕組みと、ソフトウェアの役割を理解し、目的に応じた機器の選択や利用ができる知識を身につける。</li> <li>・文節変換を身につける。時間を測り、正確に打てる力をつけさせる。</li> <li>・表計算ソフトウェアの特徴を理解し、基本操作ができるようにする。</li> <li>・表計算ソフトウェアでデータの入力やワークシートの編集などの基本操作ができるようにする。</li> </ul>	Wordを使った文の入力で、文節変換がうまくできているか。また、正確に入力ができているか。 Excelを使って問題通りに入力できているか。	9
6月	2節 関数を利用した表の作成 3節 グラフを利用した表の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフトウェアの機能を用いてデータを適切な表に表すことができる。</li> <li>・関数を利用して有用なビジネス情報を導き出すための技法を学ばせる。</li> <li>・グラフを用いて表のデータをわかりやすく表現できるようにするため、グラフの基礎知識や作成方法を学ぶ。</li> <li>・表計算ソフトウェアを使った問題を解く。</li> </ul>	Excelを使って基本的な表の作成ができているか。 Excelを使って関数を理解しているか。 データにあったグラフを作成できているか。 Excelを使って自分自身で問題を解くことができるか。	11
7月	1学期まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフトウェアを使った問題を解く。</li> </ul>	作業の到達度。	4
8月				
9月	4節 情報の整列・検索・抽出 5節 ビジネスと統計 4章ビジネス文書の作成 1節 ビジネス文書と表現 2節 図形と画像の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表のデータを目的に応じた利用しやすい形で取り出し活用するため、整列や検索の技法などを学ぶ。</li> <li>・目的に応じた適切な計算やビジネスにおける需要予測などの傾向をとらえる力を習得させる。</li> <li>・文書情報がコミュニケーションの重要な手段として、ビジネスの諸活動の中で果たしている役割や種類について理解させる。</li> <li>・基本的なビジネス文書を作成させる。</li> <li>・図形や画像情報の活用により情報の簡潔化、明瞭化、印象の強化などの効果が期待できることについて理解させる。</li> </ul>	整列や検索などの操作に必要な用語を理解しているか。 身近な手書きの文書をWordを使って清書できるか。 図形や画像を補正し、取り込みすることができているか。	11
10月	3節 基本文書の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記を利用して、例題・練習問題・模擬問題を解く。</li> <li>・ワープロの利用に関する知識と技術を習得させ、文書の構成、構成要素の配置、文書作成の要領について理解させる。</li> </ul>	例題や練習問題をうまく仕上げることができているか。 文書の構成を理解し図形挿入等ができているか。	11
11月	4節 応用文書の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワープロの多様な機能を利用し、表やグラフなどを含む応用的な文書の作成に関する知識と技術を習得させる。</li> </ul>	計算機能やソート機能を利用した文書の作成を習得しているかどうか。	9

	指導内容	情報処理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
1 2 月	2学期まとめ	・ワープロを使ったビジネス文書の作成。	Wordを使ってビジネス文書が どれだけ正確に入力ができて いるか。	4
1 月	5章 プレゼンテーション 1節 プレゼンテーションの技法  2節 ビジネスとプレゼンテーション	・プレゼンテーション活動の目的や方法について理解させる。  ・プレゼンテーションソフトウェアを活用し実習を通して、発表用の資料の整理や作成などの準備から発表までのプレゼンテーション技法を習得させる。	PowerPointを使ってプレゼン テーションの作品を作り、上 手く資料を収集し、まとめら れているか。	11
2 月	3学期まとめ	・プレゼンテーション技法を習得させる。	PowerPointを使った作品が上 手にまとまっているか。	3
3 月				